

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-7-1

APM news 172

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

プロローグ

「秋山孝の神秘3『パラダイム』～「考える枠組」と「表現する枠組」～」



『ある美術大学の教授が、テーマ「自由」という課題を出しました。

「なんでも自由に、君たちが自由に考え、自由に表現して課題作品を提出しなさい。」

その課題を学生たちは喜び、好き勝手に作品をつくればよいというイメージを持ちました。

そこには秩序のない表現と「自由」という課題解釈によって、なんでもありという考えの結果が生まれました。

ところが、学生たちは制作をはじめると困難にぶつかり、自ら自分の興味のあるもの、あるいは事について創作していきました。すなわち、自分の得意とする表現手法を「自由」の表現と置き換えたのです。つまり、「自由」というテーマを与えられながらも、自分の中で「枠組」を設定し、自分の興味のあるテーマに向かって邁進していく姿が見えてきました。それは、「考えるための枠組」と「表現するための枠組」を自分で考え、設定したのです。』

秋山孝の神秘3「パラダイム」展は開館してから9回目の個展となります。3年前から創作の秘密を証す試みを始めました。作品を生み出す為に、ぼくが何を考えて創作の手懸かりとしているのかをひとつずつ解明し、その神秘的な研究を分かりやすく案内することで、ぼくの哲学を垣間見てもらいたいと思っています。一般的には、芸術家はそれらを秘密にして話しません。それは当然で、企業秘密のようなものだからです。

ところが、あまりにもぼくの創作研究は難解だと言われるので、ぼくの研究から哲学的な側面、技術的な側面、美術史的あるいは時代的側面を検証することによって、独自性を発見し理解していただけると思っています。結果、理解するための枠組を理解していただきたい。

もうひとつ理解しなければならないのは、芸術家自身しか理解できない感覚的な直感力によって際立った表現を生み出しているということです。その美的造形が見えてきます。

芸術家の孤独の創作世界を垣間見てください。

秋山 孝 (APM館長・多摩美術大学教授)